

ことばときこえの教室だより



文京区立金富小学校
ことばときこえの教室
TEL/FAX 3814-1699 (教室直通)
NO. 8 平成29年12月

2学期も、残りわずかになってきました。寒さも一段と深まってきています。体調管理が難しい季節ですが、手洗いうがいを徹底したり、学習室の換気を行ったりしながら寒い冬を乗り切っていきたいと思えます。

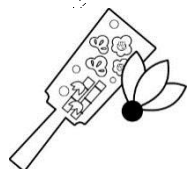
12月の予定

- 5日(火) 金富小 避難訓練
- 7日(木) 特別支援教育相談委員会
(一部の午後の指導はありません。該当の方には個別にお知らせします)
- 15日(金) 専門家による教員への研修・指導
(午後の指導はありません)
- 19日(火) 2学期指導終了
特別支援教育相談委員会
(午後の振替指導は一部ありません)



1月の予定

- 10日(水) 保護者会
会場 ことばときこえの教室 プレイルーム
時間 10:00~11:00 (予定)
- 11日(木) 3学期 指導開始
- 16日(火) 特別支援教育相談委員会
(午後の振替指導は一部ありません)
- 25日(木) } 学習発表会 15:30~16:30 (予定) 視聴覚室
- 26日(金) }
- 30日(火) 都難言協江北ブロック研究発表会 (石神井公園区民交流センター)
(午後の振替指導はありません)



学習発表会について

今年度は、児童数が増えてきたことから昨年度までの形式を変更し、2日間で学習発表会を行うことになりました。12月中には、今年度の学習発表会についてのお便りをお渡ししますので、よろしくお願いたします。

～ひまわりグループが行われました～

11月28日、2学期のひまわりグループ(吃音児グループ指導)が行われました。今回は、「ひまわりグループの仲間の発表を聞こう!」というテーマで、それぞれ調べたことや考えたこと、伝えたいことなどを発表しました。後半は、場所を体育館に移して「人間すごろく」をしました。輪を床に置き、マスに見立てます。いくつかのマスには「10マス分ワープする」「コーンにボールを当てる」など、みんなが考えた指令が書いてあります。2人1組でコミュニケーションをとりながらゴールを目指し、大いに盛り上がりました。



発表した内容は、次の通りです。みんな、友達の発表を真剣に聞くことができました。後日の指導で、友達の発表した内容についても振り返りをし、吃音に対する考えを深めていければ、と思います。

ひまわりグループのクイズ

おもしろ読み

吃音の種類とクイズ

4コマまんが

吃音のある有名人クイズ

楽に声を出す方法

吃音がある人がつくことの多い職業

読み書きについて

文章を滑らかに音読したり、文章の内容を理解したり、漢字を正しく書いたりすることが難しい子どもが、苦手さを克服していくための指導法や教材についての研究が進められています。ここでは、東京都公立学校難聴・言語障害教育研究協議会の専門研究会での原恵子先生(上智大学大学院言語科学研究科教授)の講演をもとに、読み書きに困難のあるお子さんに対する支援の一部をご紹介します。

「読み」に困難があるお子さんは、「書き」にも困難があることが多い、と言われています。

「読み」ができるためには、大きく分けて2つの力が必要です。1つは、文字・単語を音声に変換する力であり、これをデコーディングといいます。

もう1つは、文章読解を支えるものとして、語彙や文法の知識、文脈を理解したり文脈から推論したりすること、情報を統合すること、記憶力や注意力…といった様々な力です。これらの力が総合的に発揮されることで、単語や文、文章を「読む」ことができます。

また、流暢に音読するということは、読むという複雑な行動を極めて慎重に注意したり強く意識を集中したりしなくても行うことができる状態であり、これを読みの自動化といいます。読みを自動化することで、デコーディングに注意や集中を必要とせず、読解にエネルギーを注ぐことができます。

指導としては、例えば、「アイスのア」など、文字に意味を付け、文字と音を対応させる力を身に付けるキーワード法や、高学年では新しく知る言葉の意味と読み方、漢字などの表記をまとめて学習する方法、新しい文章を読む時にまず全体の意味を把握してから文章の読解に取り組む、などの方法があります。また、文章を分かち書きにしたり、文節ごとにスラッシュ(/ の記号)を入れたり、字間や行間を子どもに合ったもので提供するなど、読みやすいように工夫していく方法もあります。

こういった研究を参考に、一人一人の子どもに合った方法で指導し、子どもが「読めた!」「わかった!」「できた!」と笑顔が輝くような指導をしていきたい、と思っています。

